

減災ニュース

和田三丁目東町会

9月5日の役員・班長会にて以下の減災プロジェクトチームの原案が承認されました。

メガ地震に伴う火災対策

減災プロジェクトチーム 情報Ⅳ

首都圏でのメガ地震発生までのカウント・ダウンも間近いと云われています。

地震に続いて火災が発生すると、混乱の最中通常の消火活動は麻痺しているため火災は延焼し、統制不可能な状態になる可能性があります。斯様な事態に備えて我々町会は皆の力を結集し、自主消火体制を確立しなければなりません。

実行計画

1.消火隊の結成

9月

隊長：松尾 副隊長：馬場 隊員：間

初代隊員は消火隊の尖兵として、当面は消火訓練と一般会員より公募する隊員ボランティア加入促進業務に従事し、その後は新隊員の指導。訓練にあたる。

2.消火隊員（ボランティア）の加入促進キャンペーンの展開

10月より

この街を町会役員だけで守って行く事は不可能です。今回は初めての試みですが人材を広く一般会員まで広げポスターやチラシによる広報活動や、その都度異なる地区での巡回訓練を展開し、活動的な新規隊員を確保して行く。

3.スタンド・パイプを中心とする消火訓練の強化

10月より

最近開発された消火栓に直結可能で、簡便で機動性に優れたスタンド・パイプ中心の消火訓練を10月より月一回を目標に実施する。巡回訓練実施により訓練だけでなく隊員確保との相乗効果をめざす。又訓練は単なる操作方の習得だけでなく組織としての自主性・自発性を養う事も重視したい。今年度はS・Pは一台だけの体制だが来年度は新規に二台を追加し計三台での消火体制を計画しているが区の補助金制度を最大限利用して行きたい。

4.防災マップの配布

1,000部

11月

消火栓 貯水槽 スタンド・パイプ D級ポンプ 消火器 AED 公衆電話 等の緊急時の必要情報を地図上に表示したマップを各人に配布し防災活動に役立ててもらおう。

5.消火器の追加配置

消火圏外地区、未配置地区 木造家屋密集地区等の危険地域への消火器の優先的配置を区に要請中であり予算額に応じた配分に期待。

6.今期の追加予算

今期I～4までの活動にかんする経費は予算計上されていません。然しながら防災会予算と広報予算でそれぞれ¥3万円 計¥60,000.までの削減が可能だとの事なのでこの額の近似値で経費を抑えたいと考えています。 防災マップ¥43,000 他 計 75,000円